

八代の自然保護活動をとおして子どもの生きる力を育成
するとともに、家庭・地域との交流を図る。

八代小学校 PTA

1 学校・家庭・地域の連携協働をめざした、本校の経営方針

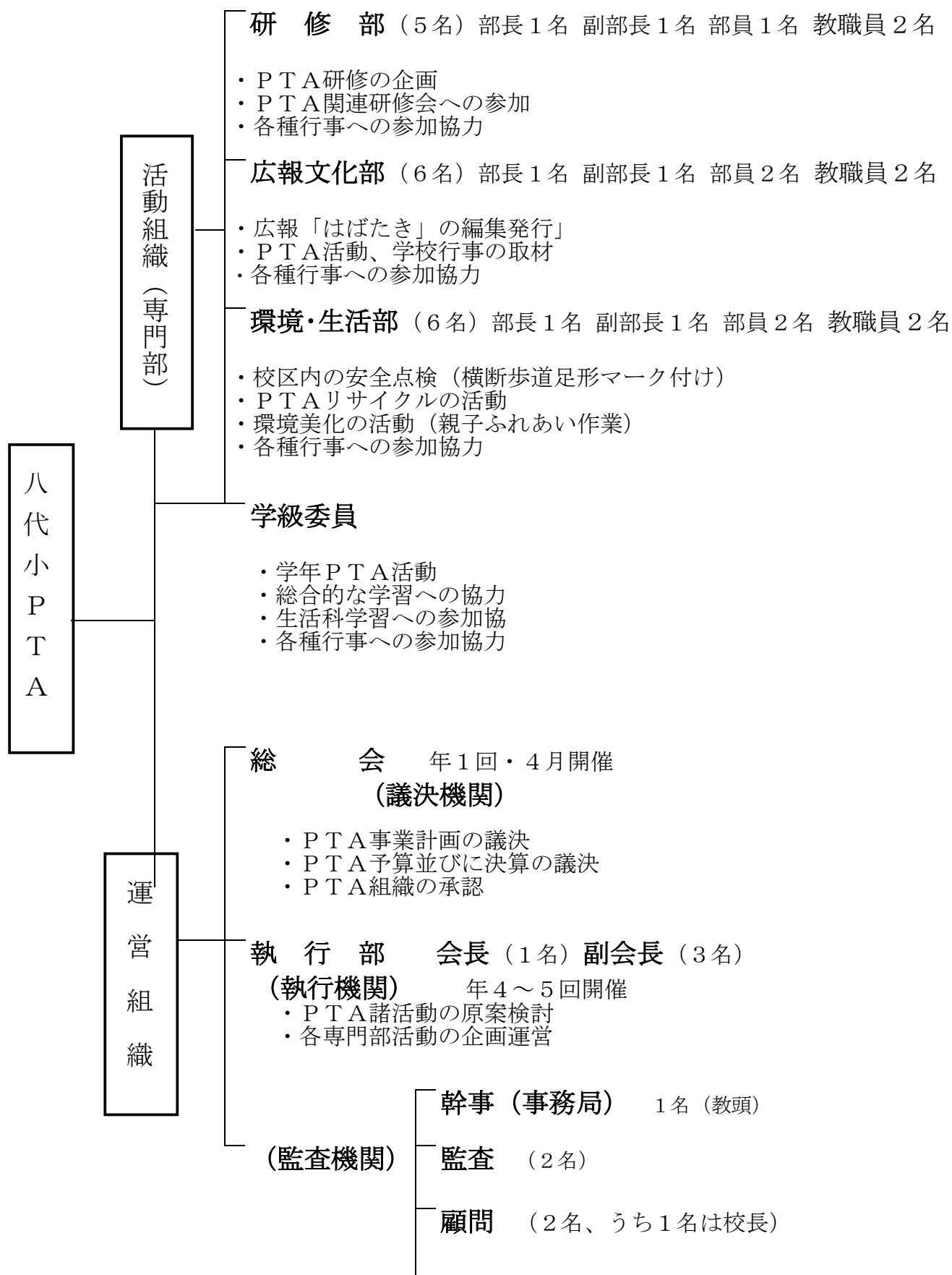
- 家庭・地域社会との連携を密にし、学校や地域の特性や伝統・文化を生かしながら特色ある校風・ふるさと学習を維持発展させるとともに、コミュニティ・スクールとして地域に開かれた学校づくりに邁進する。
- 人権尊重の精神を基盤として、自らのよさや可能性を発揮しながら、何事にもチャレンジし続ける、心身共にたくましい児童の育成に努める。
- 全教職員が教育者としての自覚と誇りを持ち、信頼と敬愛を基調とした使命感と教育愛に満ちた教育実践に取り組む。

2 研究テーマ設定の理由

八代小学校では、児童の自然保護活動に家庭・地域が寄り添って多岐にわたる実践を行っている。PTA を含む八代地域全体が見守る自然保護活動の記録を、例年、自然愛護文集「やまびこ」にまとめ印刷製本している。今回の助成希望第一の理由は、この印刷製本費用の助成を希望することにある。その他、生物観察、自然環境維持に必要な備品（作業用具）・消耗品等の購入にもあて、充実した自然保護活動を目指したいと考えている。



3 PTAの組織図



4 活動内容

(1) ギフチョウ飼育・放蝶 (4月)



◇ 生息西限といわれる八代地区のギフチョウの保護に関わる活動を通して、生命の神秘さを知り、身の回りの環境を守っていかうとする態度を育てている。ギフチョウ保護に取り組んでいる地域の方々の姿にふれることを通して、郷土や自然を

守る心情を育てている。

(2) 水辺の教室 (9月)



◇ 水生生物による水質調査を行い多様な生き物がいることを知ることで、八代地域の自然環境のすばらしさに気づき、郷土への誇りと愛着心を育てている。

(3) 親子ふれあい作業 (8月) 及び 野鶴監視所清掃 (10月)

【 (3-①) 親子ふれあい作業 】



【 (3-②) ツルのねぐら整備 ※親子ふれあい作業内で実施 】



【(3-③) 野鶴監視所清掃】



◇ 家庭及び地域内外の人たちとともに、学校周辺清掃、ツルのねぐら整備、野鶴監視所清掃等を通して、ツルとその生活する環境を守っていかうとする心情と勤労奉仕の心を育てている。

(4) 野鳥観察会 (12月)



- ◇ 自然観察指導員を講師としてお招きして、八代地域に多様な野鳥がいる様子を観察することで、ふるさとの自然の豊かさにふれるとともに、生物を保護する心情を育てている。

(5) 自然愛護文集『やまびこ』の作成



- ◇ 八代地区は、ナベヅルをはじめとして、様々な希少生物の宝庫といっても過言ではない。子供たちは、その自然環境の中でのびのびと生活し、自然と積極的にふれあっている様子を毎年一冊の自然愛護文集『やまびこ』にまとめている。

5 成果と課題

八代小学校PTAは、ここ八代地区だからこそできる子どもたちの情操教育のために、積極的な支援活動に取り組んでいる。特に、自然愛護文集「やまびこ」がPTA活動支助成金によって本年度も印刷製本され発行できることは大きな成果である。さらに本助成金が、八代の自然保護活動のために必要な備品（作業用具）・消耗品等にも利用できたことは大変にありがたかった。

今後の課題は、少子化・高齢化の進む八代地区において、効果的な助成金使用を綿密な年間計画として立案し、八代小学校PTAのさらなる発展につながるような活用を考えることである。

